



希望記事

・サプリメントについての正しい知識。【60代・男性】

サプリメントに関しては、今年度のHEALTHの中で取り上げる予定です。どうぞお楽しみに。

・今号にもありましたが、コロナ禍における変化点（暮らし方、健康等々）に関連した記事があると嬉しいです。【50代・男性】

コロナ禍によるさまざまな影響や変化については、各コーナーの記事の中でも折に触れて盛り込んでいく予定です。

・コロナ禍で仕事や生活様式も変わりつつあります。リモートワークなどを活用した社会貢献・活動事例や、新しい生活様式でのライフプランなどの記事を掲載していただければ幸いです。【50代・男性】

現在はまだ渦中にあるため見えない部分も多くありますが、今後、新たな方向転換や動きなどがあれば取り上げていきます。

・NPOを立ち上げる場合のメリットや注意点を取り上げていただくとありがたいです。定年後は、健康を保ちつつ、ストレスをあまり感じずに自分のやりたい仕事をこじんまりとすることが理想と考えていますが、その場合、NPOを立ち上げて何か社会のために役立つことができると考えているからです。【50代・男性】

今年度から始まったANOTHER ACTIVITYのコーナーでは、ボランティア活動に関する体験談も掲載いたします。その中にNPOのメリット等について入れられないか執筆者に依頼してみます。

・介護予防や見守りなど、介護に至らない程度のサービスの受けるまでの手順や、介護認定を受ける場合に最も難しい「親の説得」についての記事。【40代・男性】

「親の説得」についてはFAMILYでの掲載を検討してみます。

・定年延長する組織が多くなってきましたが、現役から見ても、処遇が低く、士気が下がっている方いますよね。士気を維持する「働き方」を知りたいです。【50代・男性】

生涯現役が当たり前となりつつある中、仕事に対する士気も長期間にわたり維持する必要性にせまられそうです。本年度の新シリーズ「人生100年時代を生きるために必要な力」やCAREER「組織まかせにしないキャリアデザイン」の中で、士気を維持するヒントについても触れられないか検討してみます。

・ECONOMY「運用の続け方と終わり方」の記事後半に掲載されていた、「財産管理等委任契約」と「任意後見契約」に関して、もっと詳しく知りたいです。両親が認知症等になった場合に備えておこなうとは思いました。【50代・女性】

本年度のECONOMYでは「介護と家計を考える」をシリーズでお届けします。その中で盛り込めればと考えています。

その他ご意見

・INTERVIEWで夏井いつき先生の素顔を知れて、ますます番組を見るのが楽しみになりました。【50代・男性】

インタビューを通して夏井いつきさんの違った一面を知ったことで、今後テレビを見るとき目も少し変わってきそうですね。

・ECONOMY山崎元さんの連載を毎号楽しみにしております。運用において「売り方」については迷うところなので、今号の先生のアドバイスは大変参考になります。雀の涙のような資産ですが、老後に路頭に迷わないよう運用にチャレンジしてみたいと思います。
【50代・男性】

・山崎元先生の話は他の評論家とは違った切り口で、とても楽しみに読ませていただきました。【50代・男性】

本誌での連載は終了しましたが、山崎元さんは多くの本や雑誌で執筆されています。興味を持たれた方は、ぜひそちらをご覧ください。

・ALPSを読むようになって、介護のこと、お金のこと、大変勉強になっています。ECONOMY「施設介護にかかるお金と住み替えの注意点」では、高齢者施設の種類や選び方が掲載されており、興味深く読ませていただきました。「介護について詳しくなっておかなければ…」と思いつつも、施設名称をみて複雑そうだと感じていたので、この記事をきっかけに、少しずつ、近隣の施設について調べてみようと思います。【50代・女性】

・畠中さんの施設介護に係るお金の記事は興味深かったです。昨年、サービス付き高齢者住宅に住む親族の相続に困りましたが、実は家賃以外にかなりコストがかかり、また、入院しても住民票が移せないで、空き室に家賃を支払い続けました。実例に基づくような相続前後のお金の話も役に立つかもしれません。【50代・女性】

・義母の介護度が上がり、施設入所を考えていたので、タイムリーな記事で、とても役に立ちました。【50代・男性】

高齢者施設は種類が多く、費用もさまざまです。いざという時、慌てないために「少しずつ近隣の施設について調べておく」とは賢明ですね。

・人生100年時代が到来し、退職後の時間をどのように生きていくのか、これまで以上に重要になっています。特に今号では、そのヒントになる記事が満載でした。それほど高くなっても志を持ち続けていきたいと奮起させられました。【50代・女性】

・今号は私にとつて「人生100年時代」の特集号と感ぜられるものでした。①社会保障制度持続性確保の問題、②年金の年齢基準給付改革の必要性、③格差や不平等拡大への対応を理解でき、個人のリカレント教育、サードプレイスの必要性を知りました。中でも、50代の私は、つみたてNISAに興味を湧き金融庁HPで調べたところ、NISAの活用例で50代はバランス型投資信託がおすすめですと知ることができたので、ぜひ実行してみます。【50代・男性】

記事の内容を丁寧に読み取っていただき、ありがとうございます。人生100年時代を見据えた記事は、本年度さらにパワーアップさせてお届けしていく予定です。人生100年時代に向けて行動を起こすきっかけにいただければ幸いです。

・今号は「40代、50代がカギを握る認知機能」「遺言書に関する法改正」「市民後見人の会の活動」をはじめ身近に感じられる話題が多く、夫婦二人で熟読しました。【50代・男性】

ご夫婦そろってお読みいただき、ありがとうございます。定年後あるいは老後がとうございませう。定年後あるいは老後、どこで、どう過ごしたいのか、何をしたいのかについては、ご夫婦でも意見が異なる部分があるでしょうから、それぞれの考えをすり合わせたり、話し合うことは、とても大事だと思います。今後とも参考とさせていただけるような情報提供に努めてまいります。





・今号ではいろんな方の人生の転機に触れることができ、もっと多くの経験談を知りたいと思いました。俳句の夏井さん、マトリミョンの高濱さん、ワインとチーズの木樽さん、教育手法を研究する伊藤さん、市民後見人の会の古賀さん、よくその一步を踏み出せたなと感心しました。【30代・男性】

人生のターニングポイントについてのお話は興味深いですし、参考になることも多いですね。今後も引き続き取り上げていきます。

・この3月で定年退職し、4月からは再任用での勤務を予定しています。そして、少し関わってきたボランティア活動(防災、合気道、鉄道)に少し時間をつくっていきたいと考えています。貴紙で様々な活動に取り組まれている方々の記事も大変参考になっており、交流もできればと考えています。職場でも後輩とともに貴紙を読んで参考にしています。これからもよろしく願います。【50代・男性】

ご定年おめでとうございます。定年後はこれまで関わってきた活動に、また違った角度から関わっていかれるんですね。新たなステージでの活躍も応援しています。

・今号は特に、定年退職を控えた身として、多方面にわたって吸収すべき知識がいっぱいです。中でも「市民後見人」という言葉は初めてだったので、自分もそのような活動をしてみたいと思いました。【50代・女性】

市民後見人は今後ますます必要とされそうな気がします。

・毎号みなさんの頑張っている記事を読んで刺激をもらっています。【50代・女性】

全く同感です。

・この1年間、御誌の解説記事には自分が知らないことも多く、色々気づかされることがありました。ただ、大学の先生の記事は理念的でやや難しいものが多かったです。次年度は、もう少し実務的な記事を増やしていただけたら嬉しいです。【50代・男性】

専門家となると大学の先生が多くなってしまうのですが、できるだけ専門用語を使わず、わかりやすくお伝えできるよう心がけてまいります。

・いつも届くのを楽しみにしています。タイムリーで、多岐にわたる内容で、とてもいい情報誌であると思います。特に、巻頭のインタビュー、誰が来られるのか、とっても楽しみです。【40代・男性】

巻頭インタビューは今年度も毎号掲載予定ですので、乞うご期待！



通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をしています。ここでは「ALPS」144号の中で「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事の上位をご紹介します。

- 1位…Health もし「手術」と言われたら
——Q&Aで知る手術の知識
山本 健人

- 2位…40代から始める身体機能トレーニング
40代、50代がカギを握る認知機能
広川 慶裕

- 3位…Economy
施設介護にかかるお金と住み替えの注意点
島中 雅子